

諸雑費等の経費対象設定に関する補足（経費対象の重複設定）

諸雑費等の経費対象については、下記のとおり経費の算出元を「定義」で規定し、諸雑費等を算出する行（諸雑費の場合はT#99を入力した行）で「参照」のフラグを立てて設定しておりますが、「参照」は優先順位と同等以上の階層を参照することから、優先順位を変えて重複設定している場合があります。

右表の
定: = 定義
参: = 参照

名称・規格	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
労務単価①	1	人	100	100	L0001	定:1
労務単価②	1	人	1,000	1,000	L0002	定:1
労務単価③	1	人	10,000	10,000	L0003	定:2
資材単価①	1	m	22,222	22,222	L0004	定:A
資材単価②	1	kg	33,333	33,333	L0005	定:a
諸雑費A	10	%	1,100	110	T#99	参:1
諸雑費B	10	%	10,000	1,000	T#99	参:2
諸雑費C	10	%	23,322	2,332	T#99	参:A
諸雑費D	10	%	56,655	5,665	T#99	参:a

「参:1」は「定:1」の金額を集計している。
 労務単価①+労務単価②
 = 100+1,000 = 1,100

「参:2」は「定:2」の金額を集計している。
 労務単価③ = 10,000

「参:A」は「定:1」「定:A」の金額を集計している。
 労務単価①+労務単価②+資材単価①
 = 100+1,000+22,222 = 23,322

「参:a」は「定:1」「定:A」「定:a」の金額を集計している。
 労務単価①+労務単価②+資材単価①+資材単価②
 = 100+1,000+22,222+33,333 = 56,655

システムでは「定義」で設定された優先順位と同等以上の階層を「参照」する。

【例】

- 優先順位が一番高い【1】で「参照」
 ⇒同じ階層である【1】で「定義」された値を基に計算を実行
- 優先順位が一番低い【ア】で「参照」
 ⇒【1】、【A】、【a】、【ア】で「定義」された値を基に計算を実行

なお、階層に横の繋がりはないため、【A】で「定義」したものを【イ】で「参照」することはできない。

		入力文字列								
優先順位	↑高い	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		A	B	C	D	E	F	G	H	I
		a	b	c	d	e	f	g	h	i
	↓低い	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ
その他		Z + * # & / -								

定義・参照欄に使用される記号（フラグ）